

# 学校評価シート（自己評価）

令和7年3月25日

## 1. 園の教育目標

人間形成の基礎となる大切な時期の幼児期にこども園という集団生活の中でさまざまなことを体験して自ら感じたこと、思ったことを素直に表現し、行動することで生きる力を育む。  
「うれしい時には笑い、かなしい時には涙を流し、くやしい時には闘志を燃やし、心豊かに生きる力を育てる」

## 2. 具体的な目標や計画

「心豊かに生きる力を育てる」

- ・こども園という集団生活の中でさまざまなことを体験して自ら感じたこと、思ったことを素直に表現し、行動する。
- ・子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、健やかな成長を目指す。

## 3. 評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
保育の計画性	B	子ども達の成長に合わせた保育の展開を行い、計画された予定にも合わせながら、一人ひとりの気持ちを受け止めながら、臨機応変に活動する事ができた。また子ども達と保育者で目標に向かって活動することができた。
教職員の処遇改善	B	教職員の残業時間を短縮できるよう、行事等の見直しを行い就業時間内に業務を終えられるよう改善を行い、職員の処遇の向上に繋げていくことができた。
子育て支援事業の充実	A	未就園児教室の申し込みや相談件数の増加がみられ、近隣地域の保護者の方のニーズに応え、地域に根ざした幼児教育を行っていく。
安全点検や防犯・防災対策の見直し	A	園の建物・設備・遊具等の点検を行い、修繕が必要な箇所には迅速に対応した。急増する不審者対策にも対応し、センサーライトの設置を行い不審者対応訓練を職員間で共有し、防犯意識を高めた。 今後も取り組んでいく。

## 学校評価シート（学校関係者評価）

学校関係者評価委員会

日時 令和7年6月10日（火）

時間 16:00～17:00

出席者 評価委員（保護者） 2人

評価委員（評議員） 2人

### 1. 自己評価で設定した目標・計画・評価項目の設定は適切であったか

概ね適切だと思います。

園の目標にもあるように、子ども達一人ひとりに寄り添い、子どもたちの個性を教職員全員で共有し、子ども達に合わせた保育を展開していた。

ひとつひとつの行事等を通して子ども達の心の成長を感じることができた。

### 2. 評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思います。

教職員全員が子ども達一人ひとりに寄り添い、サポートしており、子ども達がそれぞれ素直に気持ちを表現できる保育をされていた。

園の目標に合わせた保育を今後も続けて欲しい。

### 3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

反省や自己評価の結果が今後の課題に設定されており、概ね適切であると思われます。

規制のあった行事から通常通りの行事へ変えていくにあたって出てくる課題もあり、その都度反省点をまとめ、次の保育へつなげられるようにしている。

教職員の処遇改善にも課題が挙げられているが、改善のための方策が明確になっている。

### 4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

課題や反省を活かし、日々の保育の中で適切に行っていると思われます。

保護者との連携もされており、より安心できる保育を行っている。